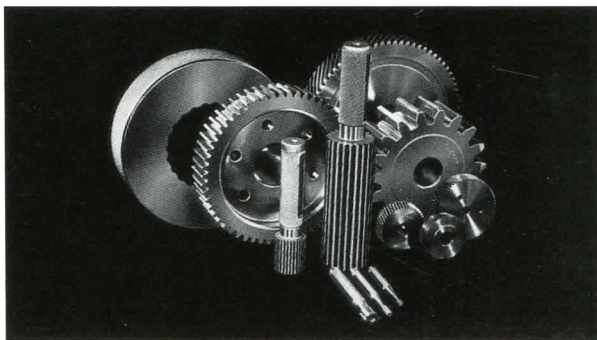
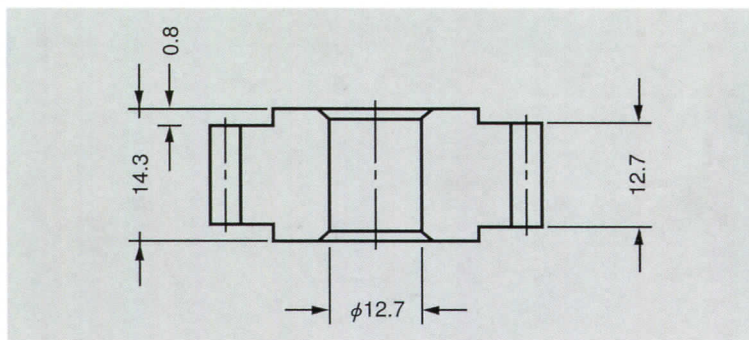


標準寸法図



標準品仕様 (平歯車)

モジュール	歯数	P.C.D	外径	モジュール	歯数	P.C.D	外径
0.15	256	38.4	38.7	0.65	59	38.35	39.65
0.2	190	38.0	38.4	0.7	55	38.5	39.9
0.25	152	38.0	38.5	0.75	51	38.25	39.75
0.3	128	38.4	39.0	0.8	48	38.4	40.0
0.35	110	38.5	39.2	0.85	45	38.25	39.95
0.4	96	38.4	39.2	0.9	42	37.8	39.6
0.45	85	38.25	39.15	0.95	40	38.0	39.9
0.5	76	38.0	39.0	1.0	38	38.0	40.0
0.55	70	38.5	39.6	1.25	32	40.0	42.5
0.6	64	38.4	39.6	1.5	34	51.0	54

※ご注文の際、圧力角 (20° または 14.5°) をご指定下さい。

精度規格の話

どこの国でも“精度規格”はその時代の環境に合わせて見直しが行われますので、永遠不変のものではありません。規格表の利用に際しては、いつ公布されたものかを確認して間違いのないようにする必要があります。現在 (1997年) 日本では歯車かみあい誤差の規格として右記のものも適用されております。

1. 日本歯車工業会規格

JGMA116-01 (平歯車及びはすば歯車の両歯面総合かみあい誤差) 1960年に制定。当時は“かみあい”に関して日本では唯一の規格であったので国内で広く使われてきました。

JGMA116-02 (平歯車及びはすば歯車のかみあい精度) 1983年、前項の規格を国際 (ISO) 規格に整合させるため改定。各等級別の許容値はJGMA116-01に比べ全般に甘くなっています。

2. 日本工業規格

JISB1752 (1989) (平歯車及びはすば歯車の測定方法) 従来の規格JISB1752 (1962) が見直された機会に両歯面かみあい誤差の測定方法と結果の処理方法が規定されました。これにより、JISで定められた誤差は以下の8項目となりました。(1) 歯形誤差 (2) 歯スジ方向誤差 (3) 歯

ミゾのフレ (4) 単一ピッチ誤差 (5) 隣接ピッチ誤差 (6) 累積ピッチ誤差 (7) 法線ピッチ誤差 (8) 両歯面かみあい誤差 但しJISB1702-1976 (平歯車及びはすば歯車の精度) で等級別許容値が定められているのは (1) ~ (7) の7項目で、かみあい誤差に対しては定められておりません。従って現在、等級表示が必要な場合はJGMAの規格によります。なお、このたび新しい国際ISO規格が制定されることになり、間もなく日本でも国家規格化 (JIS化) される見通しです。この規格では、両歯面かみあい誤差に関しても等級別許容値が定められています。

3. 外国の規格

近年、海外との取引が多くなるに従い米国歯車工業会規格 (AGMA)、ドイツ国家規格 (DIN) 等を採用した歯車の仕様が多く見受けられます。これら諸外国の規格も将来ISO規格と同一化され、新JIS規格と全く同じになると思われます。

NiTM

日本 ITM 株式会社

代理店

Technomax, Inc.

#506,6-29 Ueshio 2-chome, Chuo-ku, Osaka, Japan

http://www.technomax-j.com Mail:t-max@technomax-j.com

TEL:81-6-6762-4106 FAX:81-6-6762-4107